郡山市セーフコミュニティ推進協議会

交通安全対策委員会
活　動　報　告



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

報告者　委員長　伊藤 真由美

交通安全対策委員会設置の背景

外因による死亡者数　2009～2015年の死者数を合計

図1

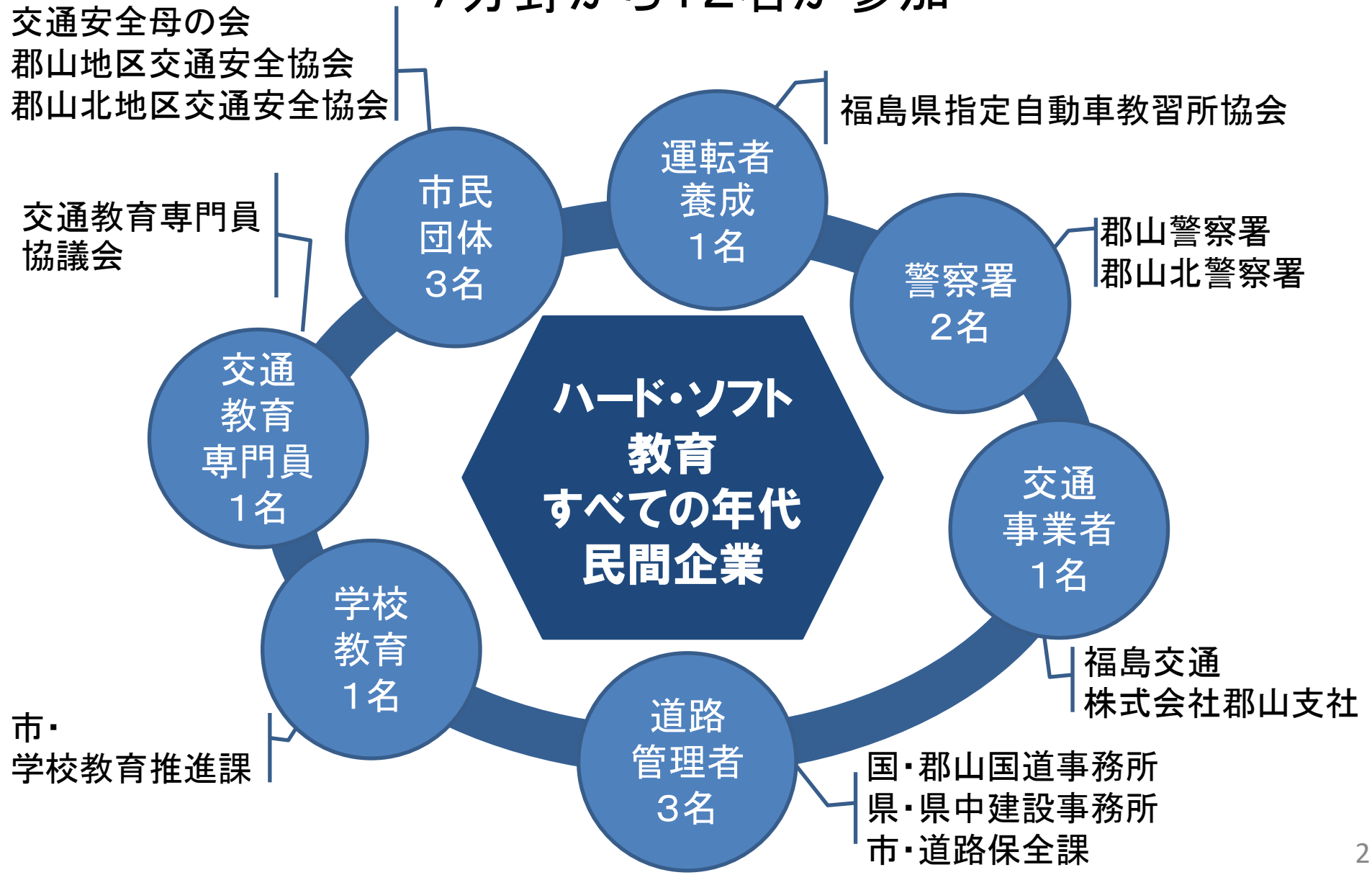
年齢層	1位		2位		3位	
0-9歳	窒息	3人	交通事故	2人	転倒・転落	1人
			溺死・溺水	2人		
10-19歳	自殺	10人	交通事故	4人		
20-29歳	自殺	70人	交通事故	7人		
30-39歳	自殺	70人	交通事故	9人		
40-49歳	自殺	92人	交通事故	17人	窒息	5人
50-59歳	自殺	106人	交通事故	18人	溺死・溺水	9人
60-69歳	自殺	78人	交通事故	21人	窒息	16人
70-79歳	自殺	47人	窒息	35人	交通事故	32人
80-89歳	窒息	96人	転倒・転落	39人	溺死・溺水	33人
					自殺	33人
90歳以上	窒息	46人	転倒・転落	19人	溺死・溺水	7人
合計	自殺	511人	窒息	212人	交通事故	132人

交通事故による死者は、幅広い年代で2位

郡山市保健所「人口動態統計（死因帳票）」より

交通安全対策委員会の構成

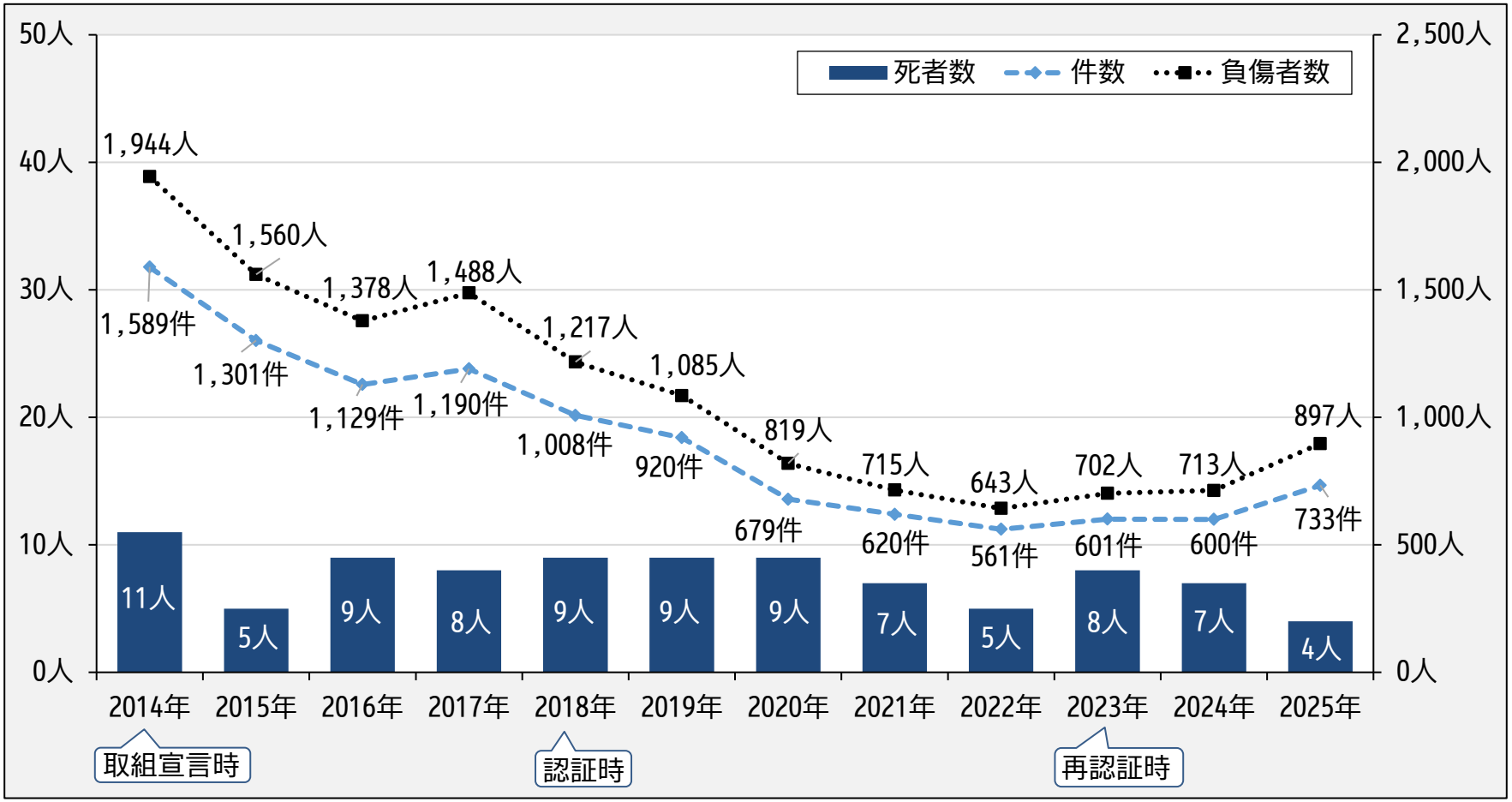
7分野から12名が参加



データからみた課題の抽出①

郡山市の交通事故（人身事故）発生状況の推移

図2



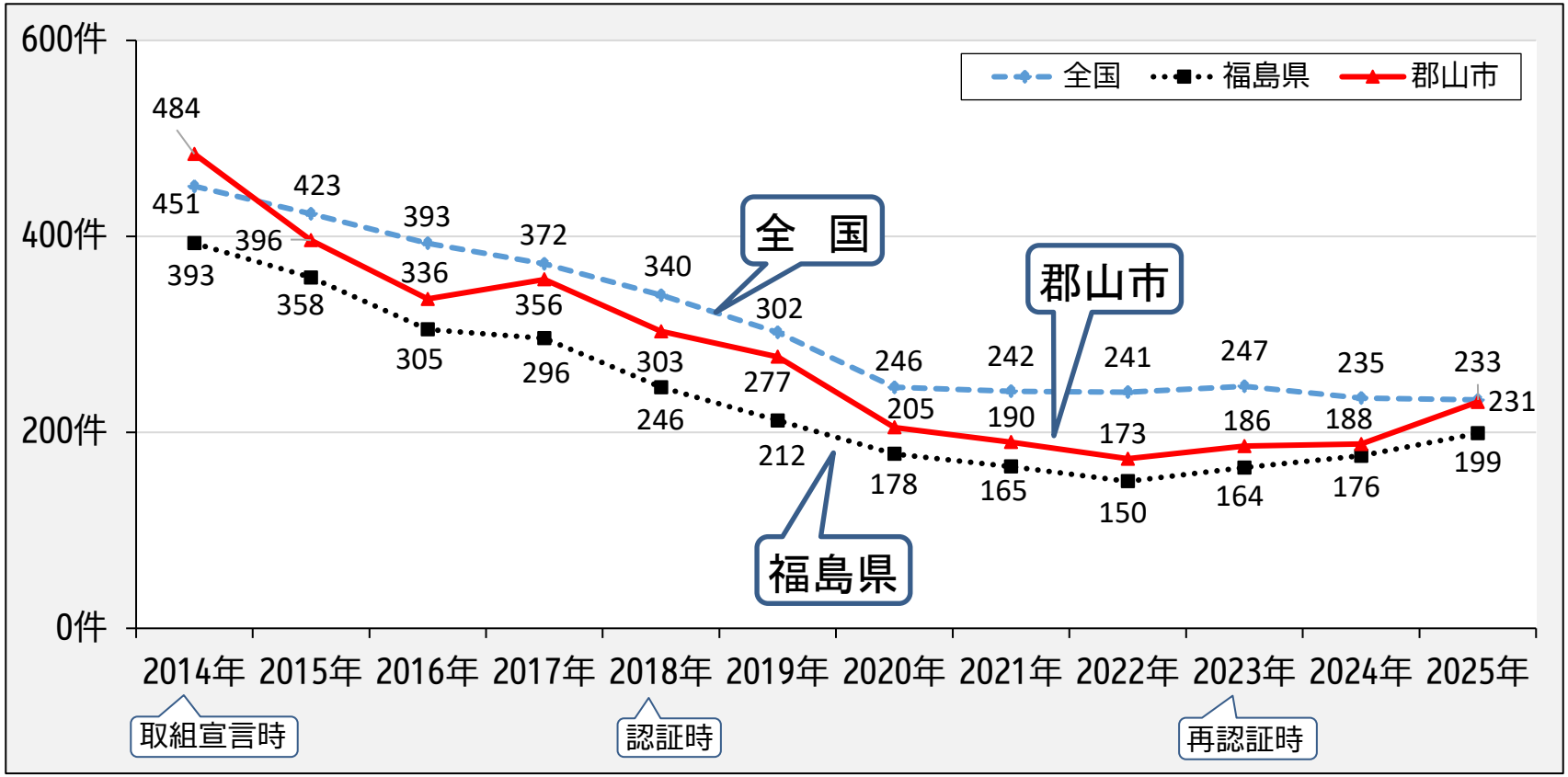
出典：福島県・福島県警察本部「交通白書」

郡山市の交通事故は、2022年まで減少傾向にありましたが、2023年からは再び増加傾向にあります。

データからみた課題の抽出②　全国や県との比較

人口10万人あたりの交通事故件数（人身事故）の推移

図3

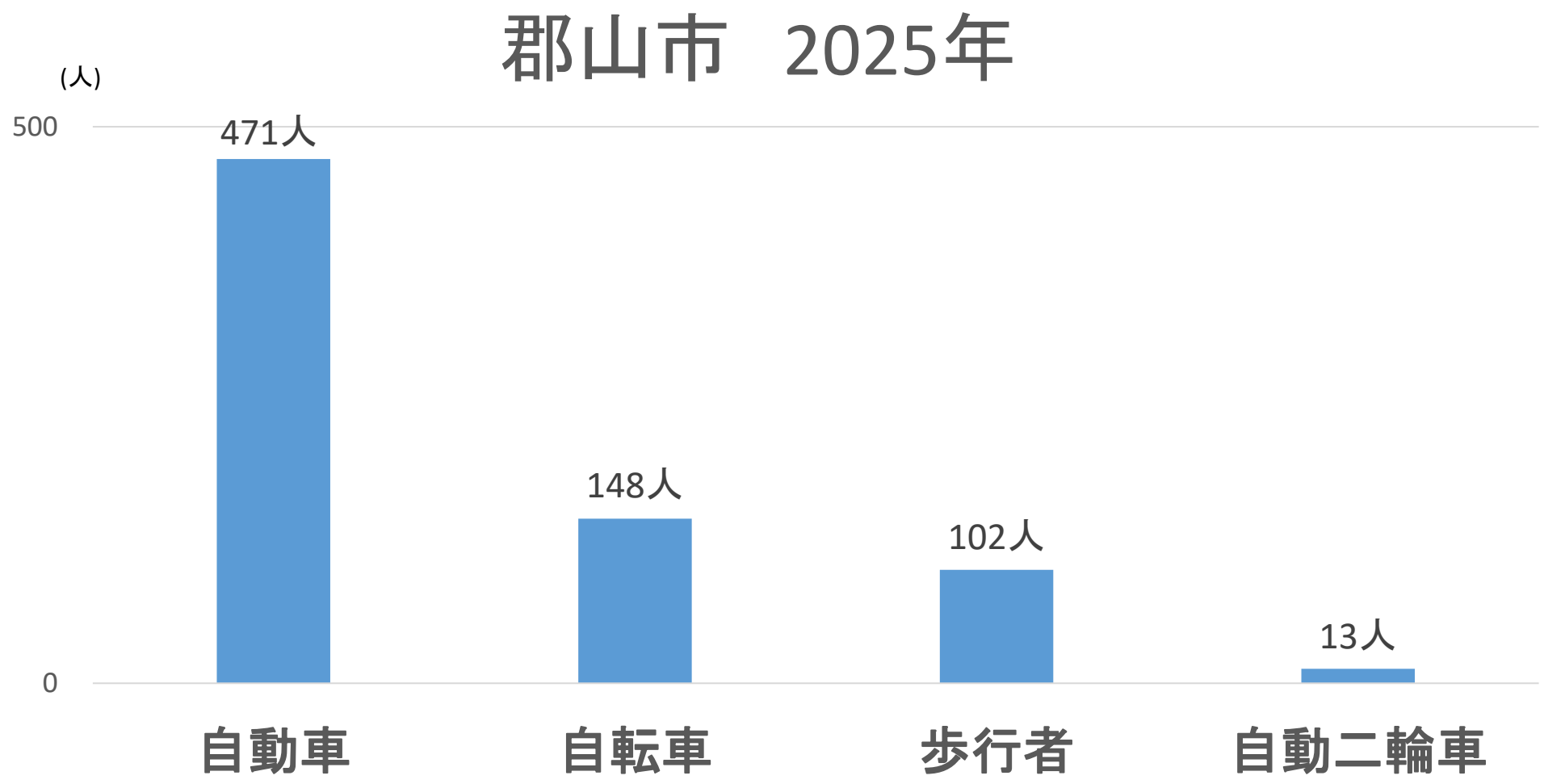


出典：警察庁「警察白書」、福島県・福島県警察本部「交通白書」

郡山市は、2024年までは全国よりも少なく福島県よりも多い状況でしたが、2025年には全国に近づき増加傾向にあります。

データからみた課題の抽出③　当事者別死傷者数

図4



出典：福島県・福島県警察本部「交通白書」（2025年）

データからみた課題の抽出④　郡山市の交通事故の特徴

図5

№	特　　徴	郡山警察署管内	福島県
1	**交差点内**の事故の割合	67．6%	57．8%
2	**青年運転者**による事故の割合	14．6%	12．1%
3	**自転車**の事故の割合	18．8%	9．9%
4	**夜間の事故**の割合	26．7%	25．7%
5	**出会い頭**の事故の割合	35．1%	29．5%

出典：福島県警察本部、郡山警察署「交通白書」2025年中の交通事故とその特徴

5つの特徴

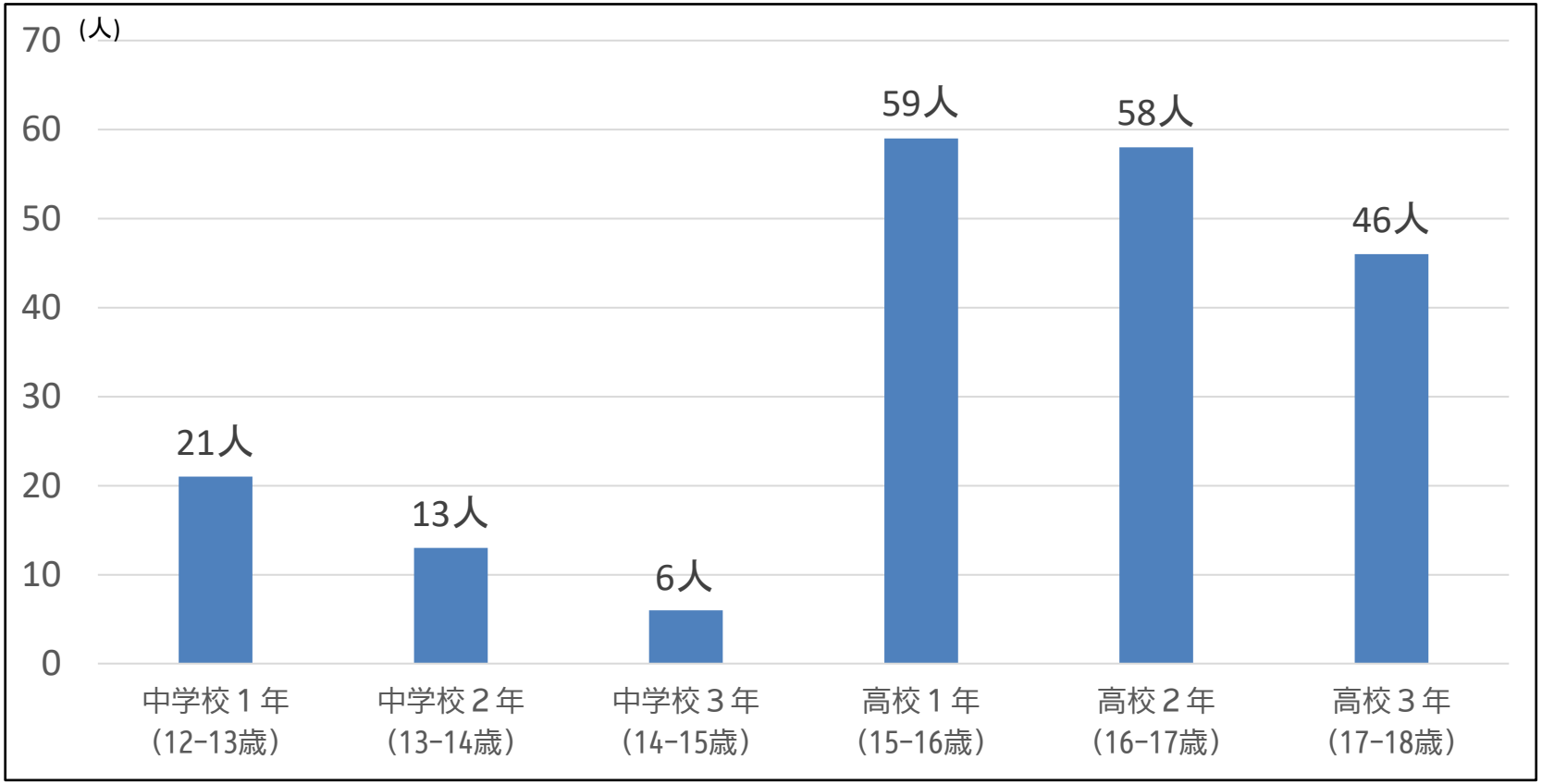
自転車事故
交差点内の事故　に着目

データからみた課題の抽出⑤ 自転車事故の多い年代（郡山市）

中学生から高校生までの発生件数

2022年から2025年の累計

図6



出典：郡山警察署「交通事故発生状況（自転車関連）」

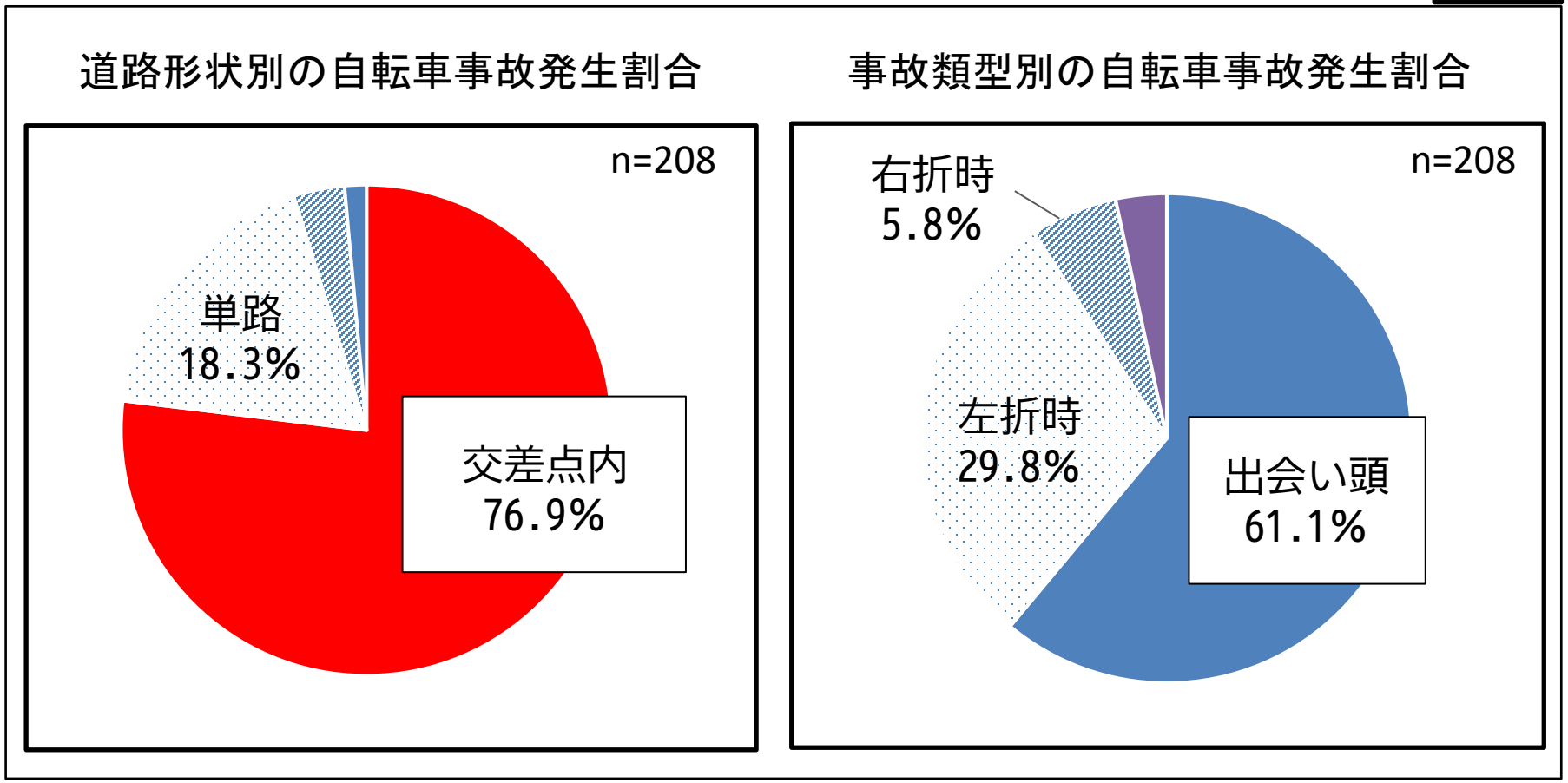
高校１年生で大きく増加し、徐々に減少

郡山市の通学手段の特徴　中学校 → 徒歩が多い

高　校 → 自転車が多い

データからみた課題の抽出⑥ 中学生から高校生の自転車事故の特徴（郡山市）

図7



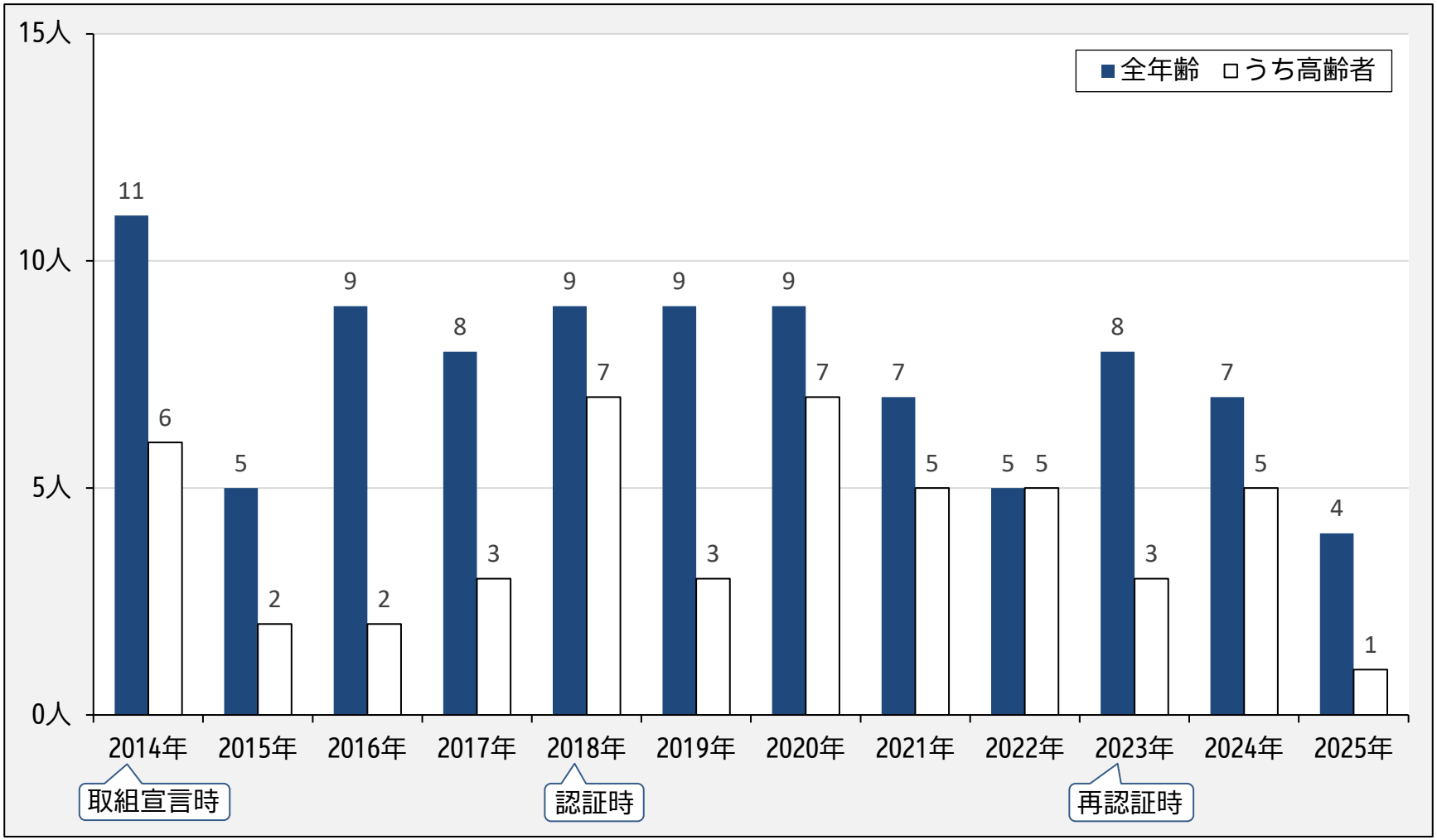
出典：郡山警察署からの情報提供資料より加工して作成　2022年から2025年の累計

交差点内の事故が多い　　出会い頭の事故が多い

データからみた課題の抽出⑦ 交通事故死者数の推移（郡山市）

交通事故死者数の約半数が高齢者

図8

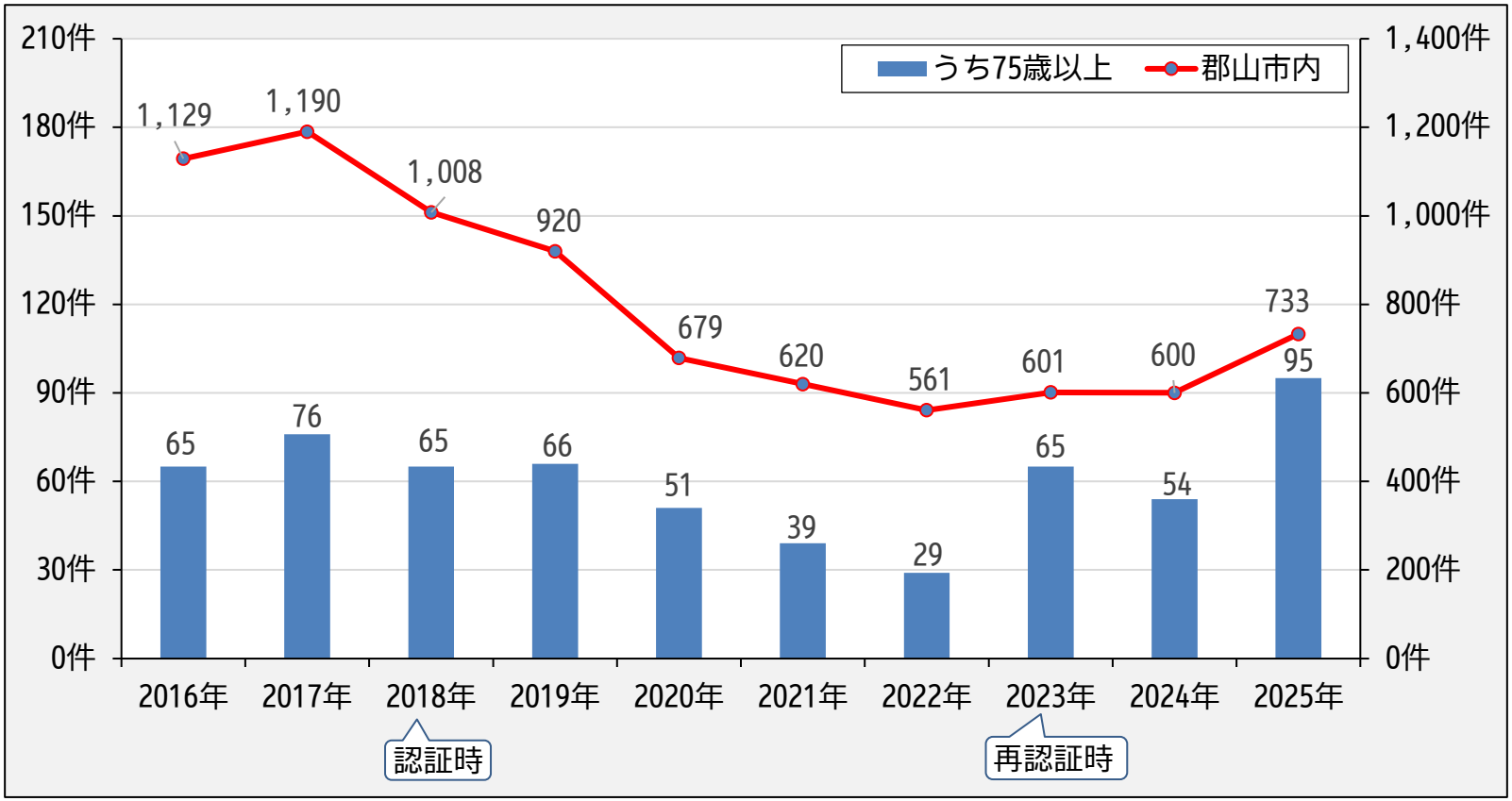


出典：福島県・福島県警察本部「交通白書」

データからみた課題の抽出⑧

図9

郡山市の交通事故（人身事故）のうち高齢運転者（75歳以上）の交通事故発生状況の推移



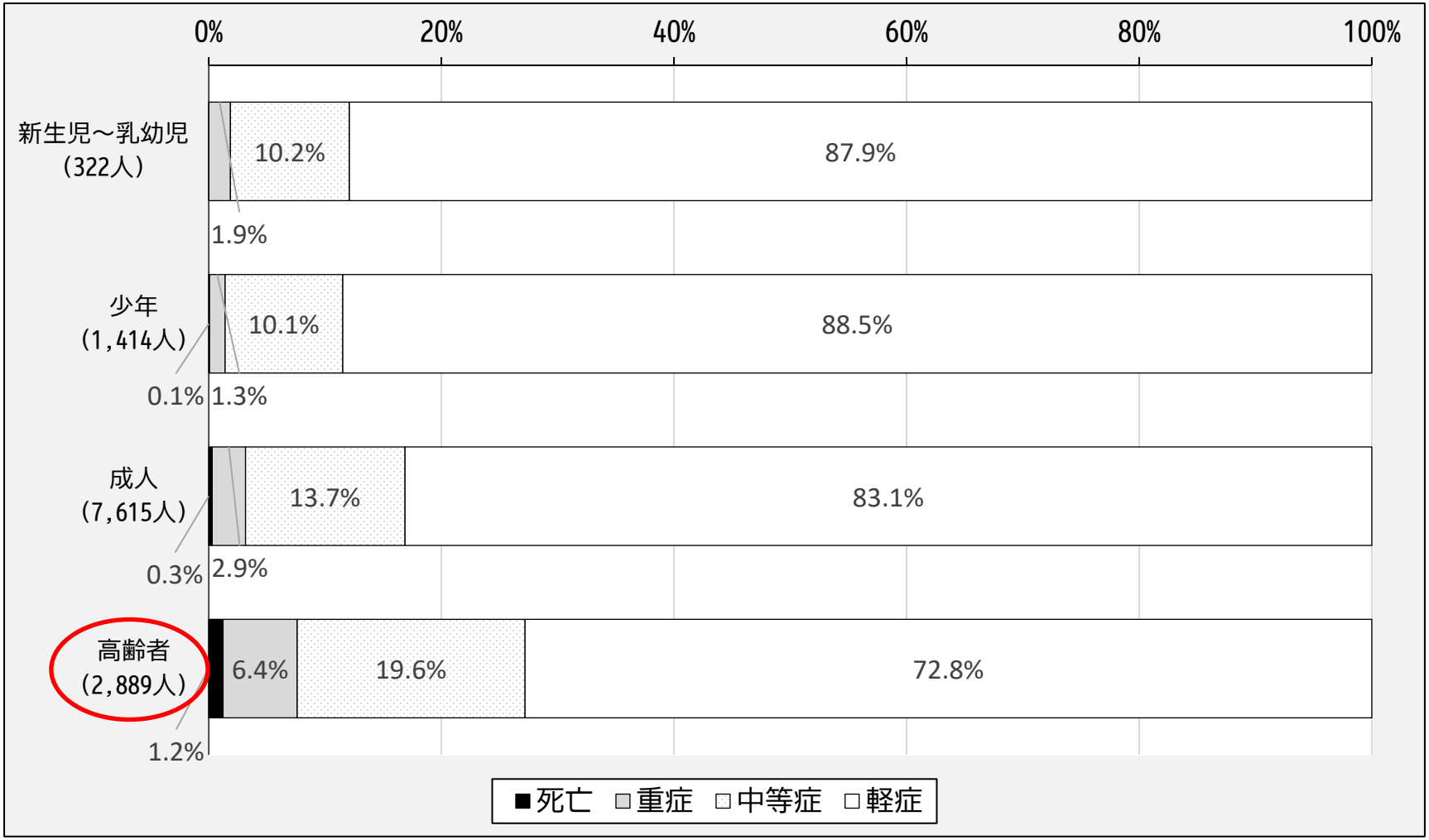
出典：福島県・福島県警察本部「交通白書」

郡山市内の交通事故のうち、高齢運転者による事故件数の割合は2023年以降、約10%で推移している状況である。

データからみた課題の抽出⑨

郡山市の交通事故による救急搬送の世代別重症度

図10

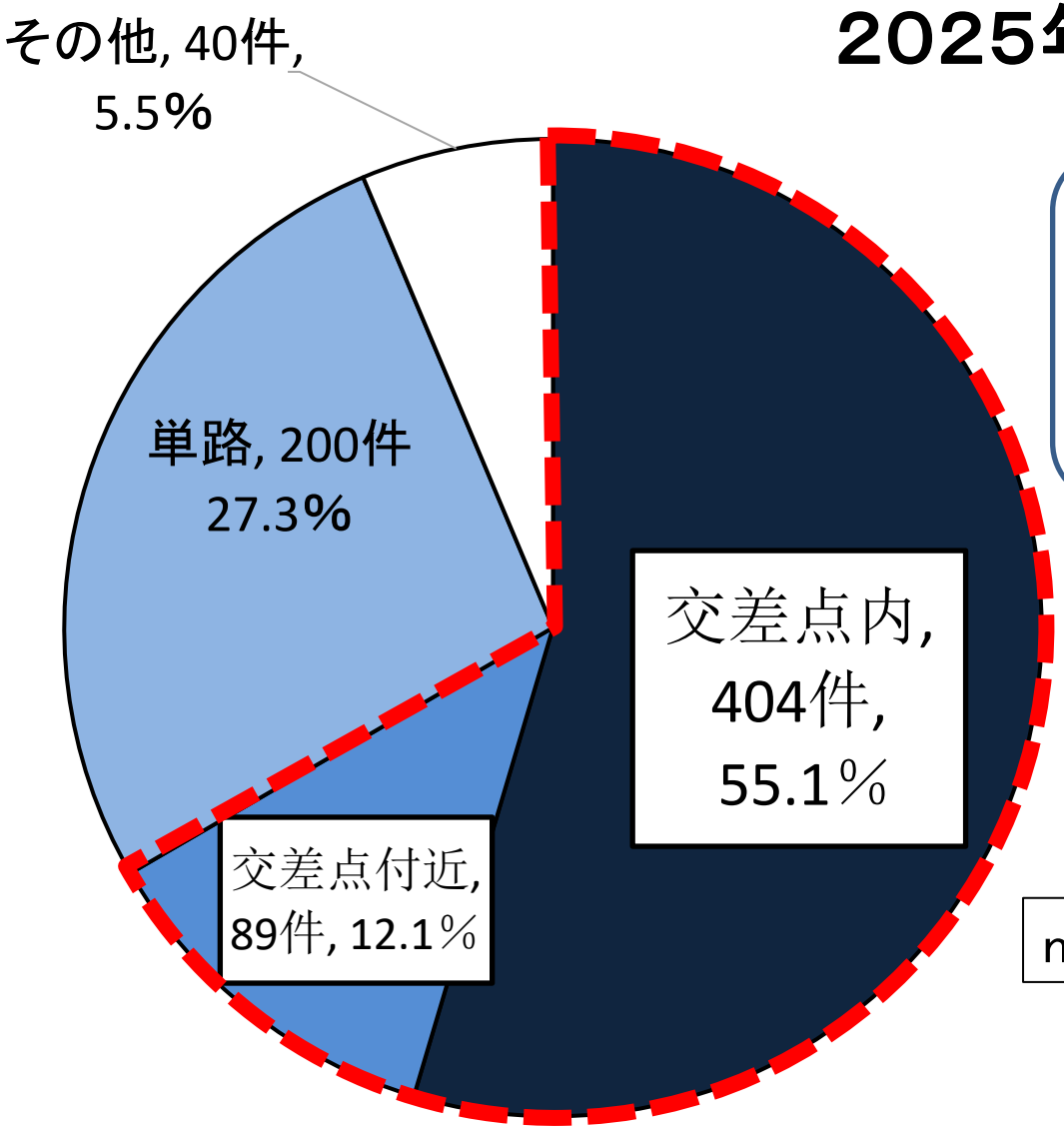


郡山地方広域消防組合「2014～2025年救急搬送データ（国表）」より

データからみた課題の抽出⑩

郡山市の道路形状別交通事故件数 2025年

図11



交差点内と交差点付近の合計約67%（493件）

出典：福島県警察本部「交通自己分析統計」

データを踏まえた重点課題と重点対象

課題1　高校生の自転車事故が多い。
（データからみた課題の抽出⑤⑥より）

課題2　高齢者の事故は重傷になりやすい。
（データからみた課題の抽出⑦⑧⑨より）

課題3　交差点での事故が多い。
（データからみた課題の抽出⑩より）

重点対象：高校生、高齢者、交差点周辺

課題に対する方向性と取組（認証取得時）

課題１
高校生の
自転車事故が多い

課題２
高齢者の事故は
重傷になりやすい

課題３
交差点での
事故が多い

方向性１
交通安全
意識の向上

方向性２
環境の整備

取組①
事故多発地点マップ配布
（高校生）

取組②
事故防止チラシ配布

取組③
自転車事故防止街頭啓発

取組④
高齢者向け交通安全教室

取組⑤
高齢者運転免許返納促進

取組⑥
高齢者への反射材配布

取組⑦
交差点の調査実施

取組⑧
事故多発地点マップ配布
（企業）

活動指標・成果指標の再検討

重点課題①

変更前

重点課題	活動指標	短期成果指標	中期成果指標	長期成果指標
高校生の自転車事故が多い	**交通事故多発地点マップ配布数**	高校生の事故多発地点の認知度	高校生の交通安全意識の変化	高校生の自転車事故件数
	交通事故防止及び自転車保険加入促進に向けたチラシ配布	高校生の自転車事故の危険性の認知度		
	高校生の自転車事故防止に向けた街頭啓発			

紙媒体から電子化した活動指標を変更

変更後

重点課題	活動指標	短期成果指標	中期成果指標	長期成果指標
高校生の自転車事故が多い	**交通事故発生地点マップ周知校数**	高校生の事故多発地点の認知度	高校生の交通安全意識の変化	高校生の自転車事故件数
	高校生に向けた電子チラシ周知校数	高校生の自転車事故の危険性の認知度		
	高校生の自転車事故防止に向けた街頭啓発			

活動指標・成果指標の再検討

重点課題②

変更前

重点課題	活動指標	短期成果指標	中期成果指標	長期成果指標
高齢者の事故は重傷になりやすい	高齢者向け交通安全教室開催数	高齢者の交通安全意識の変化	高齢者の交通安全意識の変化	高齢者の交通事故件数
	高齢者の運転免許自主返納促進回数	高齢者の運転免許自主返納件数		
	高齢者への夜光反射材の配布数	夜光反射材を身に着けた高齢者の割合		

紙媒体から電子化した指標を変更

変更後

重点課題	活動指標	短期成果指標	中期成果指標	長期成果指標
高齢者の事故は重傷になりやすい	高齢者向け交通安全教室開催数	高齢者の交通安全意識の変化	高齢者の交通安全意識の変化	高齢者の交通事故件数
	高齢者の運転免許自主返納促進周知団体数	高齢者の運転免許自主返納件数		
	高齢者への夜光反射材の配布数	夜光反射材を身に着けた高齢者の割合		

活動指標・成果指標の再検討

重点課題③

変更前

重点課題	活動指標	短期成果指標	中期成果指標	長期成果指標
交差点での事故が多い	交差点の調査実施回数	道路管理者への改善提案数	提案により改善された交差点の数	交差点での交通事故件数
	交通事故多発地点マップ配布数（企業）	**市民の事故多発地点の認知度**	**市民の交通安全意識の変化**	

実施が難しい活動指標を取りやめ、ハード面の活動指標へ集約

活動指標の削除に伴い、短期・中期成果指標も削除

変更後

重点課題	活動指標	短期成果指標	中期成果指標	長期成果指標
交差点での事故が多い	交差点の調査実施回数	道路管理者への改善提案数	提案により改善された交差点の数	交差点での交通事故件数
	~~交通事故多発地点マップ配布数（企業）~~	~~市民の事故多発地点の認知度~~	~~市民の交通安全意識の変化~~	

課題に対する方向性と取組（検討後）

課題１
高校生の
自転車事故が多い

課題２
高齢者の事故は
重症になりやすい

課題３
交差点での
事故が多い

方向性１
交通安全
意識の向上

方向性２
環境の整備

取組①
交通事故発生地点マップ
周知校数

取組②
高校生に向けた電子チラシ周知校数

取組③
自転車事故防止街頭啓発

取組④
高齢者向け交通安全教室

取組⑤
高齢者の運転免許自主返納促進周知団体数

取組⑥
高齢者への反射材配布

取組⑦
交差点の調査実施

現在の取組　国・県・警察、市、地域レベル

		国・県・警察	市	地域レベル
重点課題① 高校生の 自転車事故	環境改善	道路環境の改善		通学路安全点検
	規則・罰則	交通法令・取り締まり		
	教育・啓発	悪質違反者講習	交通安全教室	通学路安全指導
重点課題② 高齢者の事故 は重傷	環境改善	道路環境の改善		見守り活動
	規則・罰則	交通法令・取り締まり		
	教育・啓発	運転免許更新時講習	交通安全教室	家庭内での声かけ
重点課題③ 交差点での事 故が多い	環境改善	道路環境の改善		危険個所の把握
	規則・罰則	交通法令・取り締まり		
	教育・啓発	運転免許更新時講習	交通安全教室	街頭啓発

（現在の取組の例）通学路安全点検の実施

- 各学校からの要望を市教育委員会が調整し、毎年度複数箇所で実施。
- 安全点検は道路管理者、警察、交通安全団体、地元町内会等が参加。
- 現場点検後、参加者で検討会を開催し、対策を検討、道路管理者等で対策を実施。

芳賀小学校（R7.7.14）



路面のカラー化を実施

≪対策前≫



≪対策後≫



交通安全対策委員会の取組　その1

重点課題①	高校生の自転車事故が多い
方向性①	交通安全意識の向上
重点対象	高校生
取組①	交通事故発生地点マップの周知



内容

・これまで紙媒体で作成していた「交通事故多発交差点マップ」を「いつでも、どこでも、だれでも、かんたんに」確認できるよう電子化し、令和6年に郡山市GISマップへ搭載

・県警本部と連携し、過去5年分の人身事故データを集計

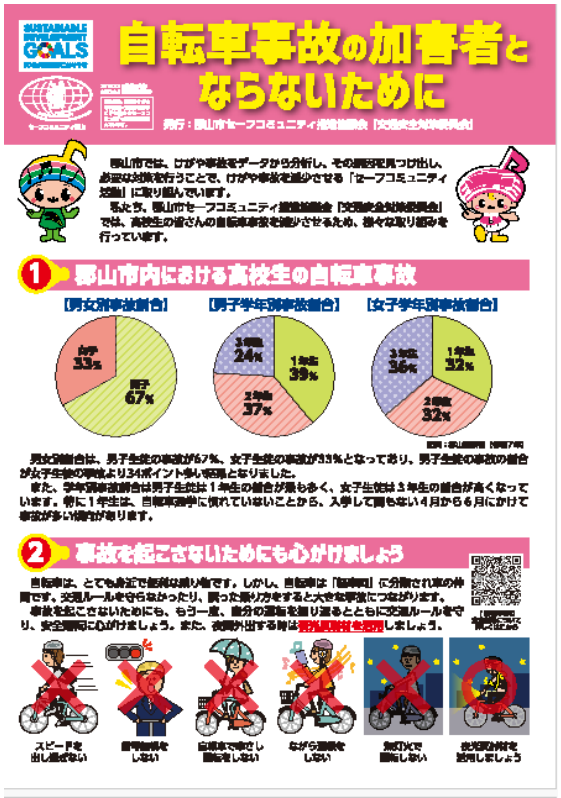
実績

・町内会、交通関係団体、高校等へ電子化を周知

・郡山東高校へアンケートを実施し、マップを見たことによる高校生の意識と行動の変化を把握

交通安全対策委員会の取組　その1

重点課題①	高校生の自転車事故が多い
方向性①	交通安全意識の向上
重点対象	高校生
取組②	高校生に向けた電子チラシの周知





内容

・これまで紙媒体で配布していた交通安全チラシを令和7年に電子化

・高校生に自転車事故の危険度を周知

実績

・市内小・中・高校へ配布

・郡山東高校にアンケートを実施

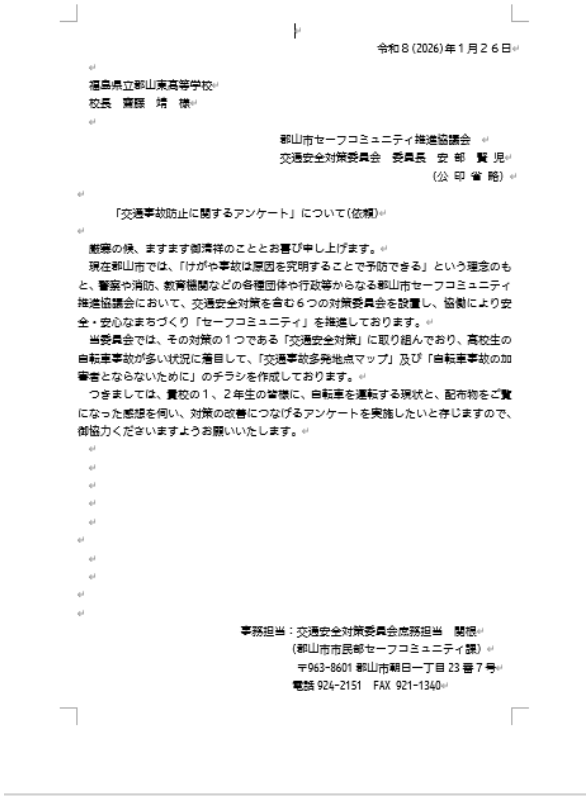
・高校生の認知度を把握

交通安全対策委員会の取組　その1

取組①
取組②

アンケートの実施

高校生の行動や意識は変わったか



令和８(2026)年１月２６日

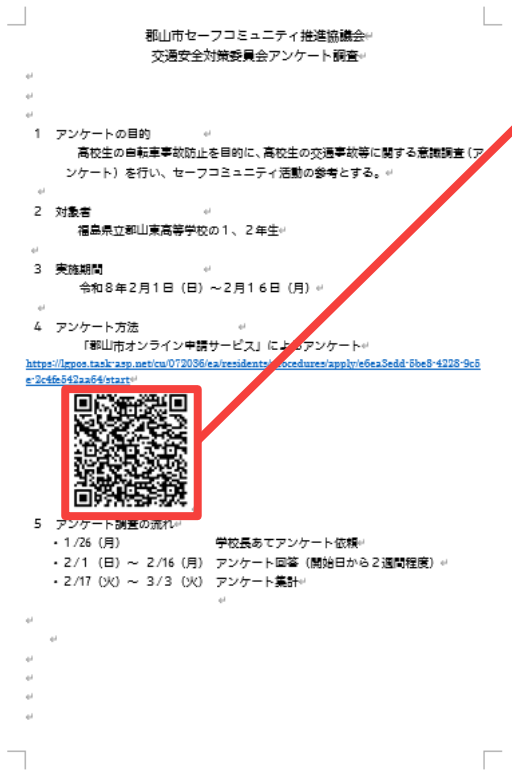
福島県立郡山東高等学校
校長　齋藤　靖　様

郡山市セーフコミュニティ推進協議会
交通安全対策委員会　委員長　安　部　賢　児
(公　印　省　略)

「交通事故防止に関するアンケート」について(依頼)

厳寒の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
現在郡山市では、「けがや事故は原因を究明することで予防できる」という理念のもと、警察や消防、教育機関などの各種団体や行政等からなる郡山市セーフコミュニティ推進協議会において、交通安全対策を含む６つの対策委員会を設置し、協働により安全・安心なまちづくり「セーフコミュニティ」を推進しております。
当委員会では、その対策の１つである「交通安全対策」に取り組んでおり、高校生の自転車事故が多い状況に着目して、「交通事故多発地点マップ」及び「自転車事故の加害者とならないために」のチラシを作成しております。
つきましては、貴校の１、２年生の皆様に、自転車を運転する現状と、配布物をご覧になった感想を伺い、対策の改善につなげるアンケートを実施したいと存じますので、御協力くださいますようお願いいたします。

事務担当：交通安全対策委員会庶務担当　関根
(郡山市民部セーフコミュニティ課)
〒963-8601 郡山市朝日一丁目 23 番７号
電話 924-2151　FAX 921-1340



郡山市セーフコミュニティ推進協議会
交通安全対策委員会アンケート調査

1　アンケートの目的
高校生の自転車事故防止を目的に、高校生の交通事故等に関する意識調査（アンケート）を行い、セーフコミュニティ活動の参考とする。

2　対象者
福島県立郡山東高等学校の１、２年生

3　実施期間
令和８年２月１日（日）～２月１６日（月）

4　アンケート方法
「郡山市オンライン申請サービス」によるアンケート
https://lgpos.task-asp.net/cu/072036/ea/residents/procedures/apply/e6ea5edd-5be8-4228-9c8e-2c46e542aa64/start

5　アンケート調査の流れ
・１/26（月）　学校長あてアンケート依頼
・２/１（日）～２/16（月）　アンケート回答（開始日から２週間程度）
・２/17（火）～３/３（火）　アンケート集計

QRコード
生徒は携帯から回答

郡山東高校１・２年生に「交通事故発生地点マップ」「交通安全チラシ」を電子データで配布

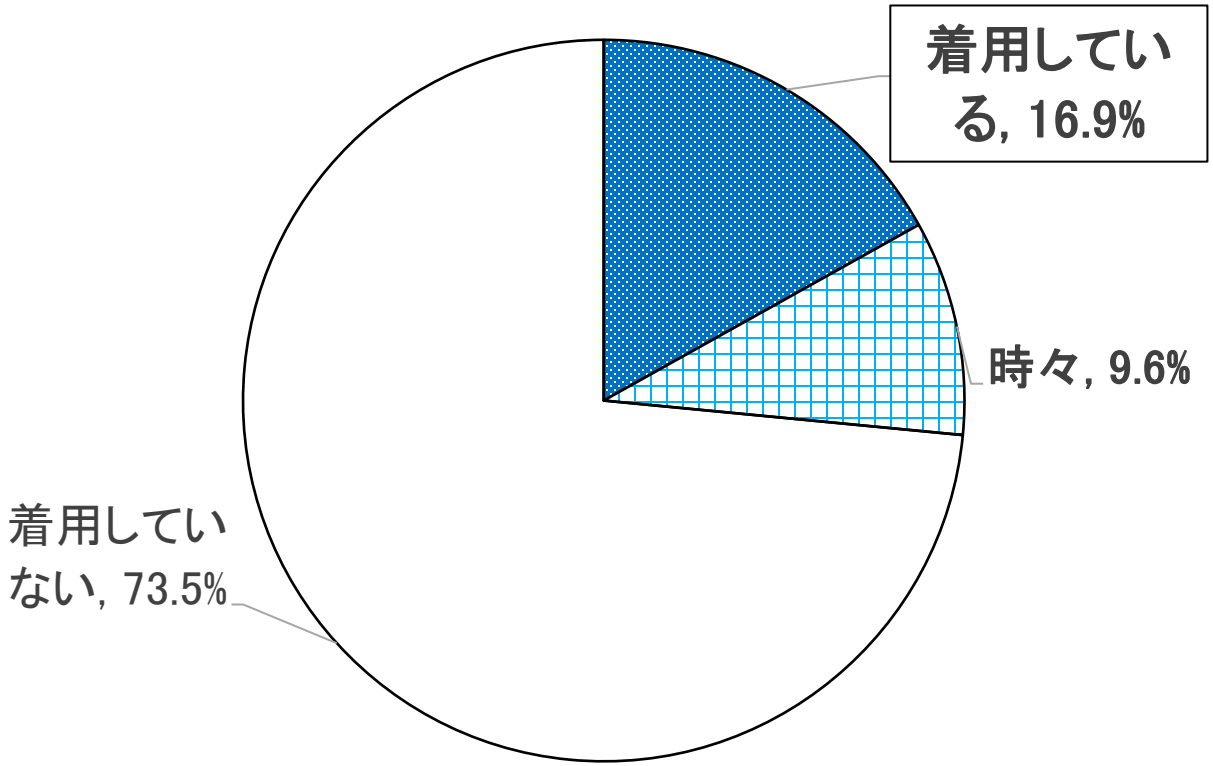
効果検証のため、インターネットによるアンケートを実施

交通安全対策委員会の取組①②による成果

アンケート結果　その１　ヘルメット着用について

図12

回答者　郡山市内に通学している高校生（426名）



426名のうち約7割（313名）の生徒がヘルメットを着用していない

出典：交通安全対策委員会「交通事故防止に関するアンケート（高校生）2026」

交通安全対策委員会の取組①②による成果

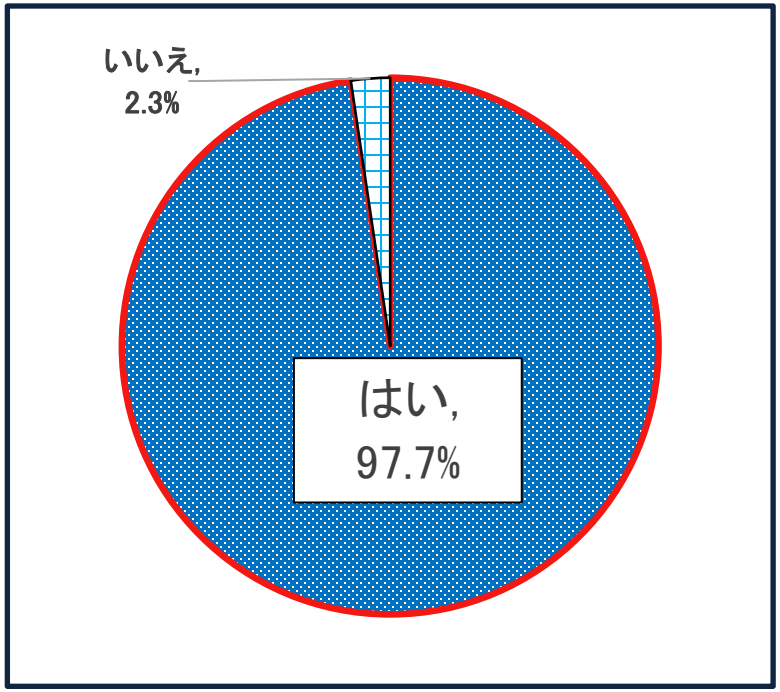
アンケート結果　その２　交通事故への認識について

高校生の行動や意識は変わったか

図13

マップを見た生徒の９割以上が、事故の多い交差点を理解した。

Q.「交通事故発生地点マップ」を見て、事故が多い交差点を理解できましたか。



出典：交通安全対策委員会「交通事故防止に関するアンケート（高校生）2026」

交通安全対策委員会の取組①②による成果

高校生の行動や意識は変わったか

アンケート結果　その３

自転車事故の危険性の認識について

Q. チラシを見て、自転車事故の危険性について理解できましたか。

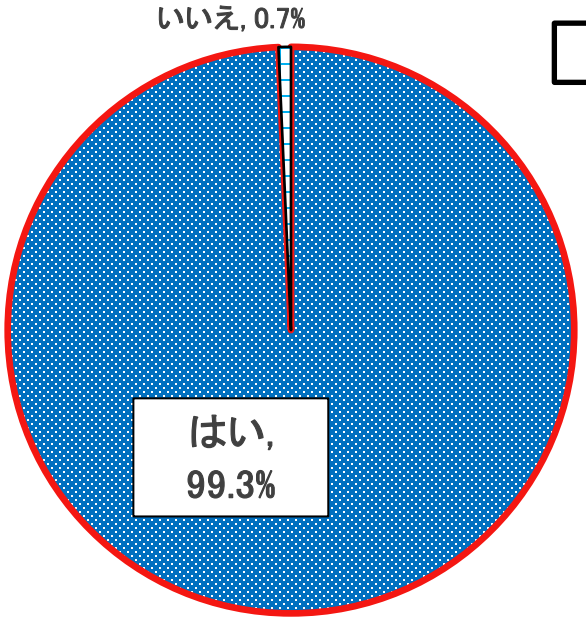


図14

チラシを見た生徒の9割以上が、自転車事故の危険性の認識が高まった。

アンケート結果　その４

交通安全に対する意識の変化について

Q. チラシを見て、交通安全に対する意識は高まりましたか。

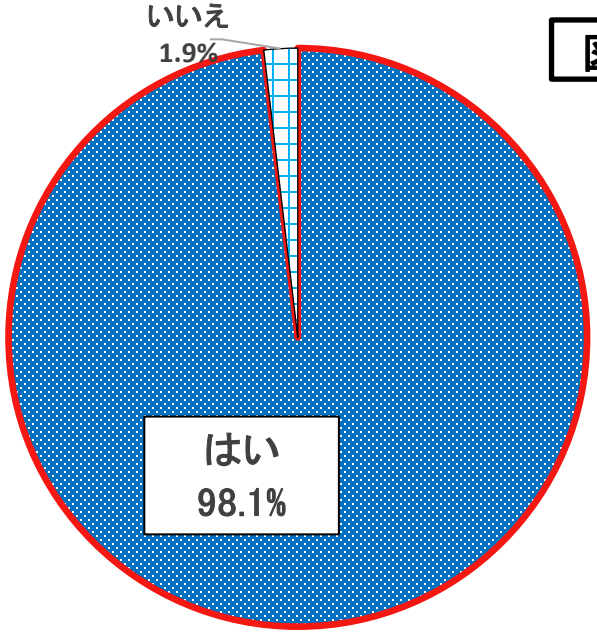


図15

チラシを見た生徒の9割以上が、交通安全に対する意識が高まった。

出典：交通安全対策委員会「交通事故防止に関するアンケート（高校生）2026」

交通安全対策委員会の取組　その1

重点課題①	高校生の自転車事故が多い
方向性①	交通安全意識の向上
重点対象	高校生
取組③	高校生の自転車事故防止に向けた街頭啓発





内容

・交通安全運動期間中に、警察や企業と連携し、
自転車通学の高校生を対象とした街頭啓発を実施
・自転車の安全運転の指導や、啓発グッズの配布

参加団体

・交通安全対策委員会
・警察
・郡山地区交通安全協会
・郡山市と包括連携協定を締結している保険会社7社
・郡山市

活動実績と評価

重点課題①　高校生の自転車事故が多い

	指標内容 【測定方法】	単位	2021	2022	2023	2024	2025
活動実績	交通事故発生地点マップ周知校数　新規	校	25枚	3	3	14	14
	高校生に向けた電子チラシ周知校数 新規	校	13,000枚	12,350枚	12,350枚	12,500枚	14
	高校生の自転車事故防止に向けた街頭啓発	回	1	1	1	1	1
短期成果指標	高校生の事故多発地点の認知度	%	84.5	89.9	83.3	―	97.7
	高校生の自転車事故の危険性の認知度	%	95.5	96.3	93.0	―	99.3
中期成果指標	高校生の交通安全意識の変化	%	93.8	95.1	95.1	―	98.1
長期成果指標	高校生の交通事故件数	人	24	39	36	39	57

交通安全対策委員会の取組　その2

重点課題②	高齢者の事故は重傷になりやすい
方向性①	交通安全意識の向上
対象	高齢者
取組④	高齢者向け交通安全教室の開催



内容

・警察と連携し、高齢者団体を対象とした交通安全教室を開催

実績

2022年　3回
2023年　1回
2024年　5回
2025年　4回
2026年　2回

交通安全対策委員会の取組　その2

重点課題②	高齢者の事故は重傷になりやすい
方向性①	交通安全意識の向上
対象	高齢者
取組⑤	高齢者の運転免許証自主返納促進周知団体数





内容

・これまで紙媒体で配布していた運転免許証自主返納制度の概要と交通安全教室の申込内容等を記載した啓発チラシを令和7年に電子化

実績

・老人クラブを通じて高齢者へ周知

交通安全対策委員会の取組　その2

運転免許証自主返納者が増えることで期待される効果

- **不安を感じながら自動車を運転する高齢ドライバーが減少することで、交通事故の減少につながる。**
- **運転免許証返納者の家族の安心感が増す。**
- **高齢者同士が自主返納について考える契機となる。**

その結果・・・

高齢者(75歳以上)の運転免許証自主返納者

【2017(H29)8/1から2026(R8)/7/31の累計】 9,128名

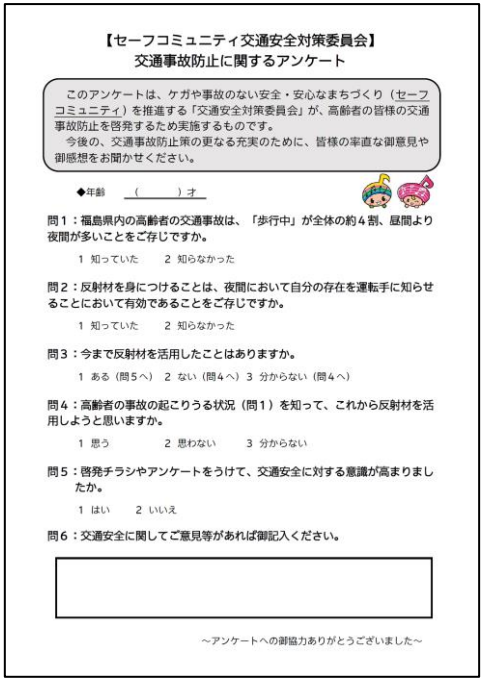
うちバス・タクシー利用券交付者

【2017(H29)8/1から2026(R8)/8/31の累計】 5,659名

交通安全対策委員会の取組　その2

重点課題②	高齢者の事故は重傷になりやすい
方向性①	交通安全意識の向上
対象	高齢者
取組⑥	高齢者への夜光反射材の配布





【セーフコミュニティ交通安全対策委員会】
交通事故防止に関するアンケート

このアンケートは、ケガや事故のない安全・安心なまちづくり（セーフコミュニティ）を推進する「交通安全対策委員会」が、高齢者の皆様の交通事故防止を啓発するため実施するものです。
今後の、交通事故防止策の更なる充実のために、皆様の率直な御意見や御感想をお聞かせください。

◆年齢　（　　）才

問１：福島県内の高齢者の交通事故は、「歩行中」が全体の約４割、昼間より夜間が多いことをご存じですか。
1 知っていた　2 知らなかった

問２：反射材を身につけることは、夜間において自分の存在を運転手に知らせることにおいて有効であることをご存じですか。
1 知っていた　2 知らなかった

問３：今まで反射材を活用したことはありますか。
1 ある（問５へ）　2 ない（問４へ）　3 分からない（問４へ）

問４：高齢者の事故の起こりうる状況（問１）を知って、これから反射材を活用しようと思いますか。
1 思う　2 思わない　3 分からない

問５：啓発チラシやアンケートをうけて、交通安全に対する意識が高まりましたか。
1 はい　2 いいえ

問６：交通安全に関してご意見等があれば御記入ください。

～アンケートへの御協力ありがとうございました～

内容

・高齢者向け交通安全教室の受講者を対象に、反射材と高齢者向けの交通安全啓発チラシを配布

実績

2022年　29枚
2023年　44枚
2024年　71枚
2025年　50枚
2026年　70枚

交通安全対策委員会の取組④⑤⑥による成果

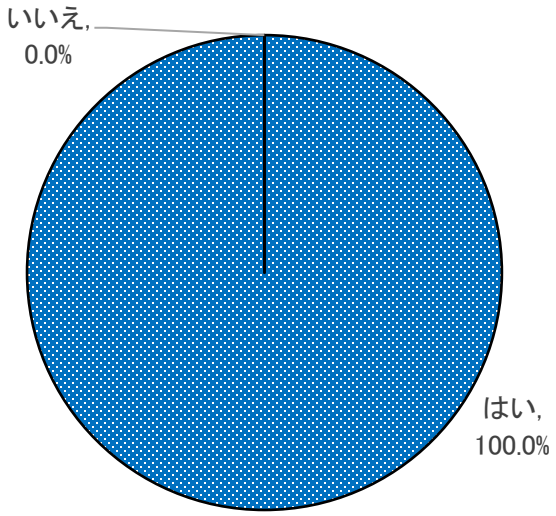
取組⑤　アンケートの実施

高齢者の行動や意識は変わったか

図16

アンケート結果　その１

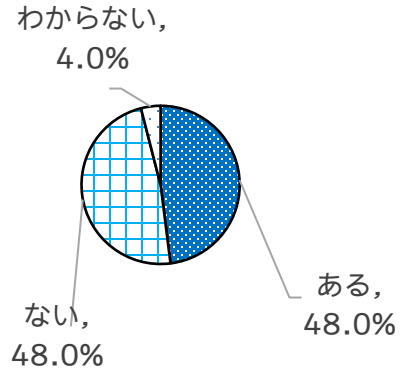
交通事故への認識について



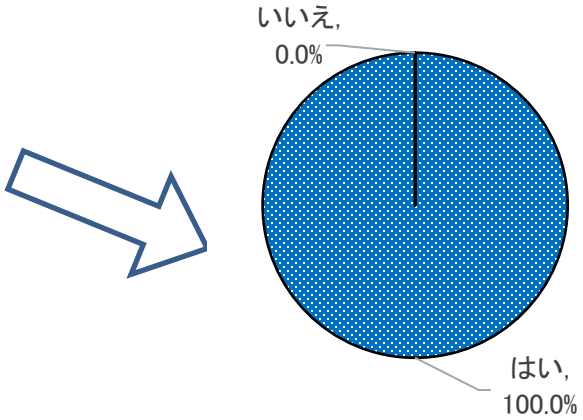
Q. 啓発チラシやアンケートをうけて、交通安全の意識は高まりましたか。

アンケート結果　その２

反射材の着用について



Q. 反射材を活用したことがありますか。



Q. もらった反射材を貼りましたか。

出典：交通安全対策委員会「交通事故防止に関するアンケート（高齢者）2026」

活動実績と評価

重点課題②　高齢者の事故は重傷になりやすい

	指標内容 【測定方法】	単位	2021	2022	2023	2024	2025
活動実績	高齢者向け交通安全教室開催数	回	0	3	2	3	4
	高齢者の運転免許自主返納促進周知団体数　新規	団体	13,000枚	13,000枚	11,000枚	11,000枚	166
	高齢者への夜光反射材の配布数	枚	25	29	44	71	50
短期成果指標	高齢者の交通安全教室の理解度	%	―	―	100	100	100
	高齢者の運転免許自主返納件数	人	1,024	901	827	1,006	974
	夜光反射材を身に着けた高齢者の割合	%	88	83	61	100	100
中期成果指標	高齢者の交通安全意識の変化	%	100	91	100	100	100
長期成果指標	高齢者の交通事故件数（交通白書等）	件	143	125	165	151	230

交通安全対策委員会の取組　その3

重点課題③	交差点の事故が多い
方向性②	環境の整備
対象	交差点周辺
取組⑦	交差点の調査実施

内容

・交通事故発生地点マップにおける事故の多い交差点の調査を実施

実績

・所管警察署である郡山警察署と道路管理者である県中建設事務所において今後の対応について検討を開始

文化通り入口交差点





活動実績と評価

重点課題③　交差点での事故が多い

	指標内容 【測定方法】	単位	2021	2022	2023	2024	2025
活動実績	交差点の調査実施箇所	箇所	2	―	―	―	1
短期成果指標	道路管理者への改善提案数	箇所	2	―	―	―	1
中期成果指標	提案により改善された交差点の数	箇所	2	―	―	―	―
長期成果指標	交差点での交通事故件数（交通白書等）	件	355	333	397	391	484

新たな取組について（高校生のヘルメット着用推進①）

・対策委員会での意見を踏まえ、令和6年度より高校生のヘルメット着用を推進するため、高校入学を控える中学3年生向けに「自転車ヘルメット着用啓発リーフレット」を作成し、配布を開始した。



表紙



裏表紙

ヘルメット型のリーフレットとすることで、デザイン的に視覚に訴えるとともに、QRコードからデジタルコンテンツへ誘導してさらなる興味が持ちやすい内容とした。

新たな取組について（高校生のヘルメット着用推進② ）

・対策委員会での意見を踏まえ、令和6年度より高校生のヘルメット着用を推進するため、生徒のヘルメット着用率向上に取り組んだ高校を「自転車ヘルメット着用推進校」として表彰を開始した。



表彰パンフレット



表彰式写真

表彰校の取組については、市ウェブサイトで紹介したほか、県南地区の高校の生徒指導教諭により構成される県南地区高等学校生活指導協議会を通して、各高等学校への啓発を行った。

新たな取組について（おたっしゃ長寿アンケートへの記事掲載）

・令和5年度に高齢者の安全対策委員会と合同開催した際に、独居老人への交通安全の周知の必要性についての意見があり、地域包括ケア推進課が毎年度実施している「おたっしゃ長寿アンケート」の結果票の送付の際の案内文に交通安全に関する記事の掲載を令和7年度から開始



「令和7年度版の記事の内容がわかりにくかった」との対策委員会での意見を踏まえ、令和8年度版ではシンプルかつコンパクトな内容に改めた。

現在の到達点と今後の方向性

重点課題	現在の到達点	今後の方向性
課題１ **高校生の自転車事故が多い**	・交通事故発生地点マップのデータ更新 ・啓発チラシのデータ更新 ・街頭啓発活動の実施	・交通事故発生地点マップ活用の周知啓発 ・活動成果の検証
課題２ **高齢者の事故は重傷になりやすい**	・交通安全教室の開催 ・運転免許証自主返納の促進 ・反射材の配布	・交通安全教室及び免許証自主返納制度の周知啓発 ・反射材活用促進のための啓発活動
課題３ **交差点での事故が多い**	・交差点調査の実施 ・交差点事故原因の分析 ・道路環境改善	・調査結果を道路の環境改善の検討へ繋げていく

御清聴ありがとうございました

